

## 第8回 議会改革調査特別委員会の概要（令和4年10月25日）

### （1） 議員の人材確保について

議員のなり手不足対策として、福利厚生の充実について意見があった。立候補にかかわる勤務先の休暇制度の創出や議員年金制度を含めた国の法整備の必要性について発言があり、今後も検討していくこととした。また、議員の人間ドックなど健康診断への助成制度について県内の状況を調査し、必要性について検討することとした。

そのほか立候補に結び付けるためには、議会に関心を持ってもらうことが必要であり、市民と議会双方の意見交換の機会や手段を持つことが重要であるとの意見があった。

### （2） 議員定数見直しについて

議員アンケートの結果では意見が拮抗しており、委員会では結論に至らず議員定数見直しについての議論は打ち切ることとした。

### （3） 議会運営のデジタル化について

市議会議長会研究フォーラムへ出席した2名の委員から内容の報告と議会理事者の同時導入を進めた燕市議会を視察した状況の報告を受け、今後はタブレット機種の選定や導入ソフトの選択、ネットワーク環境の整備等に向けて検討していくこととした。

### （4） その他

議員政治倫理条例の事務局調整が終わり委員会で確認した。今後は11月にパブリックコメントに付した後、第4回定例会への上程に向けて準備を進める。